

平成23年度 YNU学術ディスコース(第3回)

日時:平成23年10月21日(金) 15:00~17:00

場所:横浜国立大学 附属図書館 1階 メディアホール

「YNU学術ディスコース」は、様々な分野の第一線で活躍している研究者を講師として招聘し、様々な研究者が自由楽しく語り合うことで、異分野・異世代・異部局の研究者交流の場を提供して、新たな研究の芽の発掘や研究グループの形成を促進することを目的としています。

第3回は、以下の内容で開催します。若手研究者や大学院生はとくに奮ってご参加下さい。

《講演1》 バイオミメティック材料プロセッシングの開発一夢の超はっ水技術ー

「生物の生み出す物質、構造、機能、プロセスなどを学び、理解し、洗練させることにより、新しい機能材料をデザインし、創製すること」を、『バイオミメティック材料プロセッシング』と呼ぶ。環境調和型の本プロセッシングにより、分子レベルでのナノ複合化による、新しい無機・有機、有機・有機複合材料開発が行える。蓮の葉に学ぶ超はっ水技術を中心に話します。



【講師】

高井 治氏

名古屋大学 大学院工学研究科・工学部 マテリアル理工学専攻 教授

1971年横浜国立大学工学部安全工学科卒業。1976年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。東京大学、関東学院大学を経て、1992年より名古屋大学工学研究科教授。エコトピア科学研究所長を兼務。

《講演2》 エコマテリアルと高強度・超寿命金属材料との接点

エコマテリアルの概念が提案されてから20年が過ぎました。現在、材料の精製、製品製造から利用、廃棄・リサイクルに至る一連のプロセスにおいて、その環境性能を問うことは一般的となりました。その間、高強度鉄鋼材料に関わる大型研究が産学官連携のもと推進されてきましたが、これらの研究シーズはエコマテリアル研究と接点を有しています。すなわち、材料の微細複相構造設計です。いくつかの事例の中から、疲労き裂形成に関わる古くて未解決の問題を中心に研究内容を紹介します。



【講師】

梅澤 修

横浜国立大学 大学院工学研究院 教授

1986年早稲田大学理工学部卒業。金属材料技術研究所(現 物質・材料研究機構)主任研究官を経て、2001年横浜国立大学工学研究院助教授、2006年同教授。

【コーディネータ】 横浜国立大学大学院工学研究院教授 福富 洋志

- 日 時 10月21日(金) 【講演会】15:00~17:00 【懇親会】17:30~
- 会 場 【講演会】附属図書館 1階 メディアホール 【懇親会】第2食堂 2階
- 定 員 100名程度(異分野, 若手研究者, 学生の方は特に歓迎します。)
- 参加費 【講演会】 無料 【懇親会】 2,000円
- 申込み 【講演会】への参加は、事前申込不要です。(当日会場へ直接お越しください。)
【懇親会】への参加は、10月14日(金)までに研究推進企画係へご連絡ください。